

政策デザイン学科

2023年4月
設置構想中

入学定員：145名

専門教育の特徴

本学科では、政治学・経済学・社会学を学問的基盤としつつ、地域の課題を解決し、よりよい社会をつくるための〈政策提案力〉と〈協働する力〉を育む学びを提供します。人口減少・少子高齢化が進む現代、よりよい地域社会をつくるための「政策」は、国や地方自治体に任せておけばよいというものではありません。行政だけでなく、企業・NPO法人などの事業体や、地域で暮らす人びとの参画と連携が不可欠です（公・共・私の連携）。

本学科の学びは、こうした考え方のもと、「公共行政」「経済産業」「市民社会」の3領域からなる領域専門科目を中心に構成されています。学科教員の専門分野は幅広く（先に挙げたほか社会福祉学・経営学・文化人類学の教員がいます）、多角的アプローチで学びます。

1年次は少人数ゼミや入門的な科目で学びの基礎を固めます。2・3年次には国内外での学外実習に参加し学びを深めます。3・4年次では、より専門的なゼミに入り自分の研究テーマを探究します。

専門教育カリキュラム表

●…[必修]

専門 基盤科目		SDGs概論●	経済学Ⅱ 公共経営論	政治経済学Ⅰ 政治経済学Ⅱ	政策形成論 政策評価論	福祉国家論 公共哲学Ⅰ	公共哲学Ⅱ 企業倫理Ⅰ	企業倫理Ⅱ 地域社会論	共同体と市民社会
領域 専門 科目	公共 行政	社会保障論 財政入門	政治学入門 社会保険論	地方財政論 格差社会論	社会福祉原論 労働政策論	環境政策論 公的扶助論	公共政策分析 福祉政策と地域	地方自治論 行政学	
	経済 産業	地域産業論 金融入門	グローバル時代の労働問題入門 地域経済データ分析	地域企業経営論 加齢経済論Ⅰ	国際貿易論 加齢経済論Ⅱ	地域金融論 地域観光論	社会と開発 労働経済論	日本経済論 日本産業論	地域政策論 東北開発論 東北経済論
	市民 社会	現代社会問題論 日常生活とジェンダー	災害社会論 多文化共生論	ジェンダーと政策 人権政策論	災害ボランティア・NPO論 シティズンシップ論	地域防災・減災論 復興まちづくり論	障害学 災害とマイノリティ		
演習・実習・ 特殊科目		基礎演習● 演習Ⅰ	演習Ⅱ 政策デザイン実習Ⅰ	政策デザイン実習Ⅱ 地域プロジェクト実習	特殊講義 卒業研究●				
専門 関連科目		憲法Ⅰ 憲法Ⅱ	民法総論 行政法総論	労働法 商法	家族法 社会保障法				

充実した実習型授業

政策デザイン学科では、実際の社会の多様性・複雑さを知るとともに、課題解決に取り組む先人達の考え方や実践に触れるため、多様な実習型授業を設けています。

実習は、理論学習を補強すると同時に、社会問題に対する「共感力」を

高め、一般論を超えた理解力・探究力を養います。さらにそうした知見に基づき、自治体や企業、NPOなどと協働して課題解決に取り組む「実践」の機会も用意しています。社会のために実力を発揮できる人材を育てるために、私たちは実習を大切にしています。

特色ある授業

SDGs概論	ジェンダーと政策	格差社会論	地域経済データ分析
近年「SDGs」という言葉をよく聞きます。この授業では、SDGsの表面的な理解ではなく、その背景とその具体的な内容について、開発概念のパラダイムシフトの過程から考察してSDGsのフレームワークを整理します。	ジェンダー問題の解決には、様々な政策的手段が不可欠です。この授業では、ジェンダー・セクシュアリティに関する問題を解決するための政策について国内の歴史と国内外の状況を学ぶことで、政策を考えるための視点を身につけます。	「一億総中流」と言われた日本。この授業では所得格差の現状や、雇用格差、健康格差などについて学ぶとともに、格差を是正するための取り組みについても学びます。アメリカなど、諸外国の格差にも目を向けます。	近年、科学的根拠（エビデンス）に基づいて政策を立案しようとする動きが広がっています。この授業では地域の現状、課題、将来、政策効果を「見える化」することで、地域課題の有効な解決策を提案できる力を身につけます。

カリキュラムモデル



取得可能な資格

- 中学校教諭一種免許状（社会）※
- 高等学校教諭一種免許状（公民）※
- 社会福祉主事任用資格

学科の学びを通して公務員試験（行政職）の専門科目の多くを学ぶことができます。

※教職課程認定申請中

想定される卒業後の進路

- 公務員
- 金融・保険業
- サービス業
- その他の地域企業
- 教員
- 公企業（電力・ガス）
- 社会福祉法人
- NPO法人 など